

へいわのために
まなぶちからを

アフガニスタン現地スタッフによる活動報告会

JVCアフガニスタンの現地スタッフが来日します。同国では今、政府軍・外国軍と反政府勢力「タリバン」との戦闘が拡大し、またイスラム国「IS」を名乗る勢力の影響も及んでおり、厳しい情勢が続いています。そんな中、JVCは新たに平和教育と識字教室の取り組みを始めることになりました。東部ナンガルハル県の都市部と農村部に住む現地スタッフが、現在の人々の暮らしと今後の活動の必要性についてお話しします。

 特定非営利活動法人
日本国際ボランティアセンター

【日時】 2017年2月3日(金) 19:30~21:30

【場所】 〒110-8605 東京都台東区上野5-3-4 クリエイティブOne秋葉原ビル8F


【定員】 先着30名様

【参加費】 1,000円 (現地のお茶とレーズンをご用意します)

【お問い合わせ・お申し込み先】 ※要予約


担当: 加藤 電話:03-3834-2388 メール: kato@ngo-jvc.net

アジマール・フラム (教育担当)



1986年生まれ。ナンガルハル県出身、ジャララバード市在住。タリバン政権下で少年時代を過ごす。大学では獣医学を専攻。2015年、急に体調を崩した生後6ヶ月の息子を病院に連れて行こうとした日に街で自爆攻撃が起き、その混乱や道路封鎖で診てもらえず、そのまま亡くした。現在は 2人の子どもの父親。2009年からJVC職員となり、教員訓練と学校での健康教育活動を担当。

アブドゥル・ワハブ (医師)



1974年生まれ。ナンガルハル県出身、ロダート郡の村在住。6人の子ども、母親と妻の9人家族。4歳の時に旧ソ連がアフガニスタンに侵攻し、公務員だった父親が逮捕され今も行方不明のまま。叔父家族とパキスタンに移り住むが、祖国アフガニスタンに戻りカブール医科大学を卒業。別NGOで地域保健トレーナー経験を経て2006年にJVCに参加。現在は、村での地域保健活動を統括。